

伝える

促す

動く

「第10回 最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会」

令和3年7月30(金)開催

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWEB会議にて開催 (場所: 国土交通省 新庄河川事務所 2F大会議室)

『伝える・促す・動く』を目標とした減災対策への取組みの継続・実施を確認

概要

- ①令和2年度の取組と令和3年度の取組予定 (情報提供)
 - ・国 (各参画機関)、山形地方気象台、山形県
- ②令和3年度 最上川中流の減災に係る取組方針(案)について
 - ・最上川中流の減災に係る取組方針 (R3~7年度)

議事内容・主な意見

- ①令和2年度の取組と令和3年度の取組予定 (情報提供)
 - 【国 (各参画機関)】
大規模氾濫時に備えた3つの目標『伝える・促す・動く』の取組状況及び今後の取組予定(各参画機関)について説明・確認を行った。
 - 【山形地方気象台】
顕著な大雨に関する情報、記録的短時間大雨情報の改善等について説明・確認を行った。
 - 【山形県】
県管理河川におけるホットラインの実施状況、可搬式排水ポンプの操作訓練、簡易型河川監視カメラの設置、土砂災害警戒システム等について説明・確認を行った。
 - 【新庄河川事務所】
国管理河川における指定河川洪水予報の予測時間延長、「防災用語ウェブサイト」の開設等について説明・確認を行った。
- ②最上川中流の減災に係る取組方針(案)について
 - R3年度から7年度までの新たな取組方針(案)について提案、意見交換を行い、了承された。

【主な意見等】

- ・マイタイムラインの必要性を再認識。
- ・今年3月に要配慮者利用施設避難確保計画の作成ができ、これから避難確保計画を基に避難訓練を実施していく。
- ・警察も本協議会に参加をしてもらうことで、情報共有を図ってはどうか。
- ・住民一人一人が防災情報を共有していくことが重要。
- ・要配慮者施設での避難体制をどのように実践するかが課題。



協議会構成員

- 新庄市長
- 大石田町長
- 最上町長
- 真室川町長
- 鮭川村長
- 最上広域市町村圏事務組合 理事長
- 農林水産省 東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長
- 山形県 防災くらし安心部 防災危機管理課長
 - 農林水産部 農村整備課長
 - 県土整備部 河川課長
 - 砂防・災害対策課長
- 尾花沢市長
- 金山町長
- 舟形町長
- 大蔵村長
- 戸沢村長
- 村山総合支庁 建設部長
- 最上総合支庁 建設部長
- 気象庁 山形地方気象台長
- 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所長

【事務局】

- 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 調査課
- 山形県 県土整備部 河川課